

# 唐物をめぐる文化誌

アジア大陸の東端海上に浮かぶ日本列島の文化は、つねに東アジア世界の多様な文化との交流のもとに展開してきました。とくに中国大陸や朝鮮半島からもたらされた文物は、「唐物」として人々に憧憬のまなざしで迎えられてきました。この講座では、古代から近世にかけての日本列島の文化に「唐物」がおよぼした影響について考えます。

■日時：平成 30 年 7 月 6 日・13 日・20 日（全 3 回）  
金曜日 13：45～15：30

■会場：広島県立文書館会議・研修室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ 2 階）

■内容：

日程	時間	テーマ	講師
7 月 6 日 (金)	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス①：利用案内・インターネット予約貸出サービス等	
	14:00～ 15:30	海を越えてもたらされた陶磁器への憧れ	県立広島大学人間文化学部教授 鈴木 康之
7 月 13 日 (金)	13:45～ 14:00	文書館ガイダンス：利用案内・展示案内等	
	14:00～ 15:30	王朝人と唐物	県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子
7 月 20 日 (金)	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス②：書庫案内	
	14:00～ 15:30	江戸文化のなかの唐物	県立広島大学人間文化学部講師 高松 亮太

■受講料：無料

■募集人数：60 名

■対象：どなたでも（原則として全回、出席できる方）

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 30 年 6 月 21 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

■申込・問合せ先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「唐物講座」係

電話（082）251-9534（平日 9:15～18:00）

■主催：県立広島大学地域連携センター、広島県立図書館、広島県立文書館



# 講座内容



## 第1回 海を越えてもたらされた陶磁器への憧れ

県立広島大学人間文化学部教授 鈴木 康之

古代から中世にかけての中国大陸や朝鮮半島で生産され、日本列島へと輸入された陶磁器は、同時代の国産陶磁器にはない優れた質感を有しており、国内の焼き物に大きな影響をおよぼしました。こうした関係を「モデル（原形）」と「コピー（模倣）」という視点から読み解きます。

## 第2回 王朝人と唐物

県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子

菅原道真の建議により遣唐使の派遣が停止され中国との関係が見直された後も、平安の都には多くの「唐物」がもたらされました。平安の知識人たちは、異国からもたらされた「物」をどのように見ていたのでしょうか。文化の和様化の中で「唐物」がどのように捉えられていたのか、文学作品から探っていきます。

## 第3回 江戸文化のなかの唐物

県立広島大学人間文化学部講師 高松 亮太

いわゆる「鎖国」下の江戸時代にあつて、日本は唯一長崎で公に中国とオランダと交易を行っていました。長崎を通じて舶載された「唐物」は、当時の文化人たちを魅了し、文化・文芸にも大きな影響を与えていくこととなります。では、「唐物」は江戸文化のなかにどのように溶け込んでいるのでしょうか。江戸文化における「唐物」受容の様相について、さまざまな角度から迫りたいと思います。